

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

「クリスチャン生活を送ることが『歩む』ということばで表現されていることには、深い意味がある。『歩む』ということは、行動すること、動くことまた前進することを示唆している。」（マーティン・ロイドジョンス）

A 聖書における「道」とは何でしょうか？ （ボブ・ウィルキン）

「道」という表現は聖書に頻繁に登場します。新約聖書では39回、旧約聖書では215回です。

時折、「道」はキリストを指します。キリストは「わたしは道である…」(ヨハネ 14:6)と言われました。使徒言行録では、キリスト教が「道」と呼ばれている箇所が5回あります(使徒 9:2、19:9、23、24:14、22)。新改訳聖書では「道」は頭文字を大文字で表記しています。

しかし、新約聖書では、「道」は比喩的に、神に喜ばれる生き方を表すために用いられることが最も多いです。

義の道 (マタイ 21:32、ペテロ第二 2:21)
平和の道 (ルカ 1:79、ローマ 3:17)
神の道 (マタイ 22:16、マルコ 12:14、ルカ 20:21、使徒 18:26)。
主の道 (使徒 18:25)。
真理の道 (ペテロ第二 2:2)。

旧約聖書では、「道」という表現は比喩的に、主に喜ばれる生き方を表すために用いられています。ここでは、研究を簡潔にするため、箴言における「道」の用例のみに焦点を当てます。

善の道 (2:20)。
知恵の道 (4:11)。
命の道 (6:23、10:17、15:24)。
義の道 (8:20、12:28、16:31)。
正しい人の道 (15:19)。
悟りの道 (9:6、21:16)。
子どもが進むべき道 (22:6)。
道 (15:10、23:19)。

箴言はまた、「道」という言葉を用いて、信者が避けるべき道を警告しています。これ

には、「悪の道」(2:12; 4:14)、「悪人の道」(4:19; 12:26; 15:9)、「陰府(墓)への道」(7:27)、「死の道」(14:12; 16:25)、「愚か者の道」(12:15)、「不誠実な者の道」(13:15)、「曲がった者の道」(22:5)などが含まれます。

主イエスは永遠の命への道です。主を信じる者は皆、その命を持ち、決して滅びることはありません。

主イエスはまた、満ち溢れる命への道でもあります。主に従う者は皆、境遇に関わらず、豊かな命を経験します。神に喜ばれる道を捨てる者は、自らを害することになります。神は最善をご存知です。神は私たちに、神の祝福を享受する道を示してください。

もちろん、私たちは神が定められた道を注意深く歩まなければなりません。ダビデが神の命令に反して契約の箱を動かそうとした愚かなことを思い出してください(歴代誌上 15:1-2以降)。その結果、ウzzaは死にました(サムエル記下 6:7)。

義の道は、律法主義的な儀式によって歩むものではありません(ガラテヤ 5-6章)。それは、神の言葉という純粋な乳を切望し(ペテロ第一 2:1-3)、それによって心を新たにされることによって歩むものです(ローマ 12:2、コリント第二 3:18)。

聖書の中で「道」という表現がどのように用いられているかを、ぜひ調べてみてください。きっと大きな励みとなるでしょう。牧師の方々は、聖書における「道」の用法について、一連の説教を行うと良いかもしれません。日曜学校の教師や家庭聖書研究会のリーダーも、このテーマでシリーズ講座を開くことができます。

恵みを常に心に留めておけば、義の道を歩

み続けることができるでしょう。

ボブ・ウィルキン(ダラス神学校神学修士、博士)は、グレース福音協会の創設者兼事務局長であり、ラジオ番組「グレース・イン・フォーカス」の共同司会者。

質問：クリスチャンの歩みとは何ですか？

答え：聖書には「クリスチャンの歩み」という言葉は直接使われていませんが、新約聖書ではクリスチャンが信仰においてどのように「歩む」べきかが説明されています。ここでいう「歩む」とは、日々の生活を具体的に表す比喩です。クリスチャン生活は旅であり、私たちはその旅を歩むべきであり、信仰において着実に前進していくべきなのです。

クリスチャンの歩みには、キリストに似た者となるが含まれます。クリスチャンとは、キリストに従う者です。「キリストのうちにとどまっていると言う者は、キリストが歩まれたように歩むべきです」(第一ヨハネ 2:6)。苦難について、ペテロはこう述べています。「あなたがたは、このために召されたのです。キリストはあなたがたのために苦しみを受け、あなたがたに模範を残されました。それは、あなたがたがその足跡に従うためです」(第一ペテロ 2:21)。信者には聖霊なる神が宿っており、神は彼らを正しい道へと導いてくださいます。

クリスチャンの歩みには、義になかった生き方が含まれます。ローマ人への手紙 8章 4節は、神の目的を次のように説明しています。「それは、肉に従ってではなく、御霊に従って生きる私たちの中に、律法の正しい要求が完全に満たされるためです。」御霊によって歩むとき、私たちは「肉の欲望を満たすことはありません」(ガラテヤ人への手紙 5章 16節)。ですから、クリスチャ

ンとしての歩みは、肉の欲に「ノー」と言うことを必要とします。クリスチャンとしての歩みは、善行によって特徴づけられるべきです(エペソ人への手紙 2 章 10 節)。

クリスチャンとしての歩みには、従順が伴います。使徒ヨハネは、「神の命令に従って歩む」ことによって、神への愛を示すことができますと教えています(ヨハネの手紙第二 1 章 6 節、ヨハネによる福音書 14 章 15 節参照)。この世を歩む私たちには多くの道が開かれています、神の戒めは私たちを有害な道から遠ざけ、命の道へと導いてくれます(詩篇 16 篇 11 節)。神の言葉である聖書は、私たちの足のともしびであり、私たちの道の光です(詩篇 119 篇 105 節)。

キリスト教の歩みは信仰を伴います。第二コリント 5 章 7 節には、「私たちは信仰によって歩み、見るものによって歩むではありません」(ESV 訳)とあります。これは信者にとっての根本的な真理です。私たちは永遠の光の中で生き、イエスや天国の報いといった目に見えない現実を目を向けます。私たちは自分の理解に頼るのではなく、神が私たちに啓示してくださったことに従って生きます(箴言 3 章 5-6 節)。

キリスト教の歩みは、新しい考え方を伴います。キリストに従うとき、私たちは古い生き方を捨て、新しい生き方を受け入れます。「わたしは主にあって、このことを言い、また証します。あなたがたはもはや異邦人のように、彼らの空しい思いの中で歩んではなりません」(エペソ 4 章 17 節)。キリスト教の歩みを歩む者への命令は、「心の霊において新しくされ、真の義と聖さにおいて神のかたちに創造された新しい自分を着なさい」(エペソ 4 章 23-24 節)ということです。

クリスチャンとしての歩みは、主への忠実さを伴います。私たちの人格は、主の御姿に「ふさわしい」ものでなければなりません。

ん。エペソ 4 章 1-3 節には、そのような歩みによって得られる資質がいくつか挙げられています。「あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい。謙遜と柔和を尽くし、忍耐をもって、愛をもって互いに忍耐し合い、平和のきずなによって御霊の一致を保つように努めなさい。」コロサイ 1 章 10-12 節では、「ふさわしく歩む」とは、次の 4 つの人格的特質と結びついています。

- 1) あらゆる善い行いにおいて実を結ぶこと
- 2) 神の知識において着実に成長すること
- 3) 神の力によって喜びをもって耐え忍び、忍耐強く続けること
- 4) 父なる神に感謝すること。

もしあなたが、キリストとより親密に歩むことを望むクリスチャンであるなら、祈り、導きを求めてください。「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます」(マタイ 7:7)。神は「忙しすぎる」とか、もっと重要なことがあるなどと思わないでください。あなたが神の子であるなら、神はいつもあなたのために時間を作ってください。クリスチャンとしての歩みは祝福に満ちていることを知ってください。「主は義人の道を守られる」(詩篇 1:6)。

もしあなたがまだクリスチャンでないなら、神に祈り、罪を告白し、十字架につけられ復活された主イエスを信じてください。クリスチャンとしての歩みを始め、永遠の命を確信してください。

GotQuestions.com より

愛する子よ、まだ知らぬ明日を恐れてはいけません
人生が新たに求めるものを怖がってはいけません

知らないことは、悲しむ理由にはならない
あなたが知らないことでも、わたしは知っているのだから

今日、あなたには隠された意味が見えない
わたしのいましめの意味が。しかし、あなたは光を得るだろう

わたしの約束に頼り、信仰によって歩みなさい

進むにつれ、すべてが明白になるだろう

あなたは一歩だけ、と言う。それなら、大胆にその一歩を進みなさい

信仰によって見るべきなのは、一歩先で十分だ

その一歩を踏めば、次にすべきことが告げられる

主は一歩一歩、あなたを導いているからだ
恐れを抱いて立つてはいけない、あなたの敵が待ち構えていても

あらゆる危険に挑み、不従順を犯してはいけない

あらゆる障害に囲まれても、進み行きなさい

強い神であるわたしがあなたの道を開くから

だから、あなたに任された任務を喜んで行いなさい

わたしの約束があれば、あなたの知るべきことは

これから先、いつでも、あなたのすべての旅路において

わたしが先を行くということ

—フランク・J・エクスレイ Ω

<お知らせ Announcement>

★7月26日(日) 午後はムービー・フェローシップを予定しています。

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会【マラナサ・グレイス・フェローシップ(略称:MGF)】はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ1:23)。「あなたがた【MGF】は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ2:10)。